

# 山正ニュース

株式会社 山 正		
本社・緑化部	岐阜市市橋4-5-15	Tel <058>271-4468
岐阜営業所	岐阜市市橋4-5-15	Tel <058>271-4466
可児営業所	可児市川合塚越345-1	Tel <0574>62-5228
富山営業所	富山県射水市大江207-1	Tel <0766>55-3882
飛騨営業所	高山国府町857-2	Tel <0577>72-4466

2014年5月号 (通巻60号)

## § 1 これから処理する水田除草剤の留意点！！

～葉齢を確かめ、時期を失しないようにすることが大切～

本号がお手元に届く頃は、富山県では大部分の圃場で田植えが終了し、田植え時期の幅が広い岐阜県でもそろそろ終盤に近づき、体系で処理を予定している通期剤や、比較的后半まで使用できる体系是正剤（いわゆる一発剤）の処理時期を迎えることになるものと思います。

先月号（通巻59号）では、除草剤の殺草メカニズムに沿った処理を行って、効果を最大限に発揮させることが大切なことを紹介しましたが、効果の高い剤を選択した場合でも、処理時期を失してしまうと安定した効果が期待できません。図-1には田植え時期の違いによるノビエ葉齢のおおよその目安を示しました。これから使用時期を迎える多くの中期剤は、登録上の使用時期上限がノビエ3葉期となっていますが、この時期に達するのは、5月25日頃（5月15日田植え）から5月29日頃（5月15日田植え）になるものと予想されます。次ページの図は岐阜営業所管内におけるおおよその使用時期を示しましたが、時期を失しないように散布することが大切です。なお、ノビエ葉齢の進み具合は営業所間で若干異なりますので、詳しくは最寄りの営業所の担当者にお尋ね下さい（次ページの図は佐野岐阜営業所長による）。

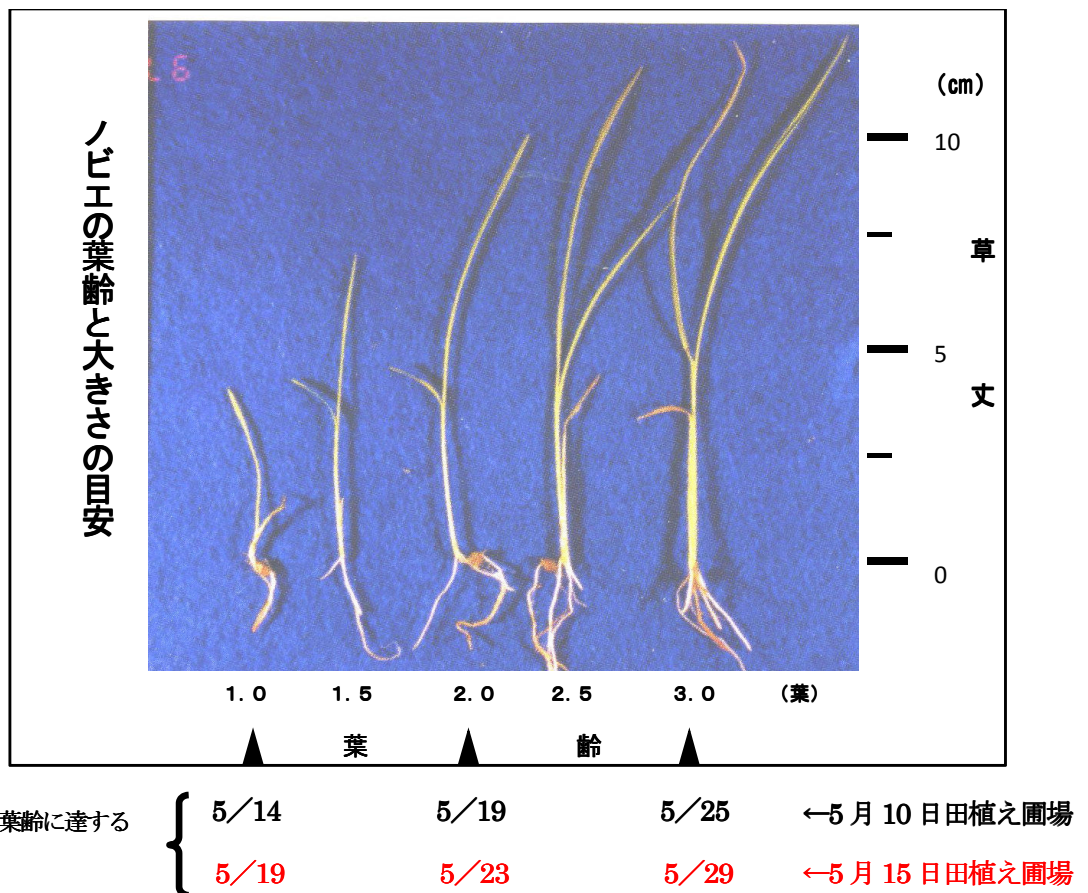
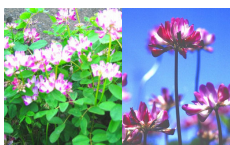


図-1 田植え時期とノビ葉齢との関係

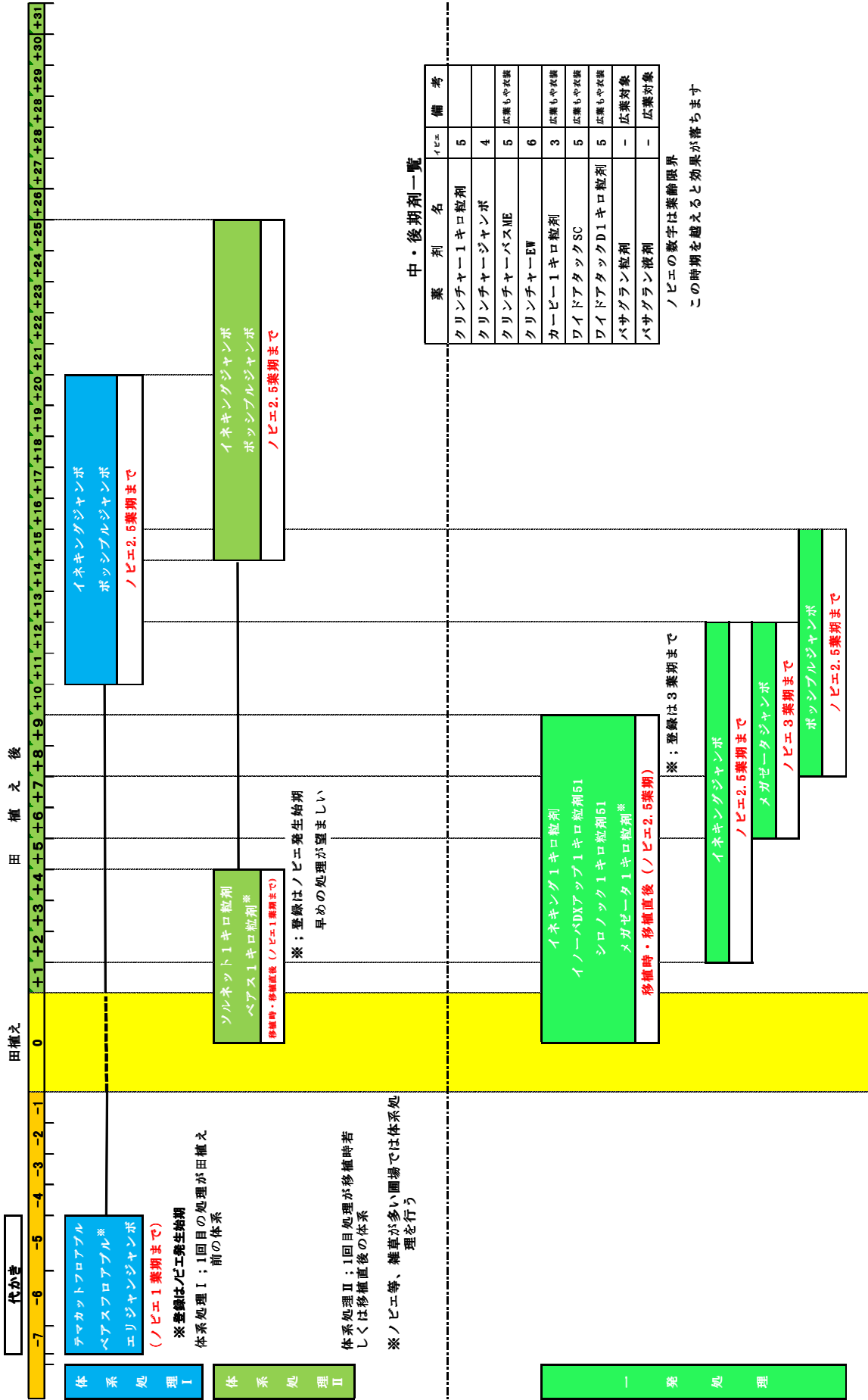
(富山県雑草防除研究会および富山県の資料をもとに名畑技術顧問が作図)



株式会社山正は、農薬・肥料・園芸ハウス・農業資材等の販売や、それに伴う農地・緑地・街路樹等のメンテナンス業務を通じ、地域農業や地域の環境緑地化への貢献を目指しています。



体系処理剤、一発処理剤の使用時期（移植水稲）（Ver.2 平成26年5月現在）



※1 これから処理する水稲用除草剤の留意点  
～葉齢を確かめ、